

避難確保計画の作成に向けた各種資料の使い方

自治体職員用

【資料の準備】

自治体用

避難促進施設の所有者等向け説明
スライドフォーマット 要編集

自治体職員が施設所有者等に避難促進施設について説明するための基本スライドのフォーマットです。

自市町村の内容に編集して使用します。
(所有者等が計画作成時に参照する資料となります。)

自治体用

説明会開催用文書フォーマット 要編集

説明会の開催案内や次第、所有者等への説明文書のフォーマットです。

【説明会】

避難促進施設の所有者等向け説明
スライド資料 編集済資料

説明会開催用文書 編集済資料



所有者等用

避難確保計画（火山編）作成ガイド
【火口周辺・単独施設版】
【火口周辺・地区一体版】
【居住地域・単独施設版】
【居住地域・地区一体版】

所有者等用

噴火時等の避難確保計画のひな形
【火口周辺・単独施設版】
【火口周辺・地区一体版】
【居住地域・単独施設版】
【居住地域・地区一体版】

施設所有者等へ提供

施設所有者等用

【計画の作成】

所有者等は、自治体から提供される下記3つの資料を使って計画を作成します。

避難促進施設の所有者等向け説明
スライド資料 編集済資料

避難確保計画（火山編）作成ガイド 編集済資料

所有者等用

避難確保計画（火山編）作成ガイド
【火口周辺・単独施設版】
【火口周辺・地区一体版】
【居住地域・単独施設版】
【居住地域・地区一体版】

ひな形の記入方法と留意事項について記載した資料です。

所有者等用

噴火時等の避難確保計画のひな形
【火口周辺・単独施設版】
【火口周辺・地区一体版】
【居住地域・単独施設版】
【居住地域・地区一体版】

作成ガイドを読み進めながら同時に穴埋めすることにより、避難確保計画を作成することができるひな形です。

取組事例集

自治体用

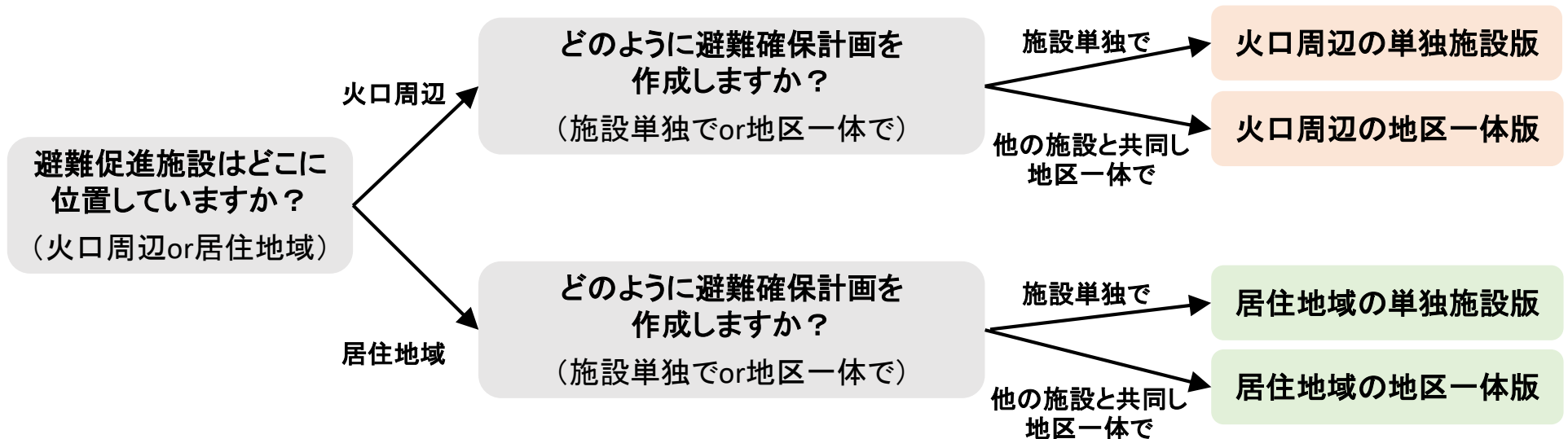
集客施設等における噴火時等の避難確保計画作成の取組事例集

モデル施設・地区における計画作成までの取組
(検討スケジュールや検討内容)をまとめた事例集です。



作成ガイド・ひな形の選び方

- 作成ガイド・ひな形は、避難促進施設の立地や作成主体に応じて4種類に分かれています。
- 気象庁が公表している各火山のリーフレットを参考に、避難促進施設が防災対応をとるべき噴火警戒レベルを確認しましょう。
 - ※噴火警戒レベル2又は3に応じた規制範囲に避難促進施設が位置する場合は「**火口周辺**」、
噴火警戒レベル4又は5に応じた規制範囲に避難促進施設が位置する場合は「**居住地域**」です。
- 下図を参考に、避難促進施設に適した資料を活用しましょう。



<本解説資料の作成にあたり、ご指導、ご協力いただいた方々>

■噴火時等の避難計画の手引き作成委員会 委員（◎：座長）

- ◎池谷 浩 一般財団法人砂防・地すべり技術センター 研究顧問
- 石原 和弘 京都大学 名誉教授
- 尾形 好雄 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 専務理事
- 河野 まゆ子 株式会社 J T B 総合研究所地域戦略部長 主席研究員
- 関谷 直也 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 准教授
- 勝俣 浩行 箱根町 町長
- 吉本 充宏 山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター
主幹研究員（センター長）